



# 日高ロータリークラブ WEEKLY

2022-2023 R.1テーマ  
イマジン ローター

## THE ROTARY CLUB OF HIDAKA

例会日	毎週火曜日	時間	第1・3週 18:00~19:00	第2・4週 12:30~13:30
例会場	日高市商工会	住所	〒350-1206 日高市南平沢 1083 日高市商工会館内	
事務所	同上	TEL. FAX	042 (985) 3355	
会長	鈴木敏藏	幹事	長谷川 悟	会報委員長 犬竹 一 浩

### 第1818回例会 2022年9月6日(火)

2022年9月13日発行 第1637号

#### 本日のお客様

山口和範様(地区子ども家庭委員会委員長 東松山 RC)  
小高春雄様(東松山 RC)  
清水洋子様(地区代表幹事 2570 パスポート)  
日向秀一様(地区幹事 2570 パスポート)



#### 会長の時間 鈴木敏藏会長

本日は、平成元年10月22日に制定されました『日高市民憲章』についてお話をさせていただきます。

#### ～日高市民憲章～

奥武蔵の豊かな自然に恵まれ、先人の築いた伝統ある文化の息づく日高市。わたしたちは、このまちに生きることを誇りとし、

心をひとつにして、ふるさと「日高市」を築くため、  
全市民共同の誓いとして、ここに市民憲章を定めます。

- 1 いこいある 緑と清流を 愛します
- 1 ゆとりある 心と体をつくります
- 1 活気ある まちづくりを めざします
- 1 歴史ある 文化のかおりを 高めます
- 1 笑顔ある ふれあいの輪を 広げます



(日高市民憲章が彫られた石版の写真)

市民憲章とは、一つの自治体に住む住民が、たがいに横のつながりをもってよい生活を築こうという考えを表わしたものです。市民として誇りを持ち、みずから作った環境に責任を感じ、その文化遺産を尊重し継承するという市民の合意や約束、願いを表したものと いえます。

ロータリーにも『四つのテスト』がございます。やはりこういった軸となる考え方や約束事を、言葉にすることは大切であると感じました。日高市民憲章の、宣言1つ1つの言葉の前に『ロータリーは』とつけて読み上げても「その通り!」と、しっくりくるものがございます。併せて『ふれあい清流文化都市宣言』も素晴らしい内容ですので、御紹介させていただきます。

#### ～ふれあい清流文化都市宣言～

カワセミが飛ぶ清流のまち さわやかな緑のまち 伝統ある文化の香り高いまち  
人にやさしいふれあいに満ちたまち 日高市は、市民とともに人と人との  
出会いを大切に助け合いながら、心に潤いと安らぎを与えるふるさとづくりをめざし、  
ここに「ふれあい清流文化都市」を宣言します。

日高市には、高麗川のような清流が流れており、日和田山の緑をはじめとする豊かな自然に  
囲まれています。このような豊かな住環境で、日々の活動ができることに改めて感謝しなければ  
いけないと感じました。



#### 幹事報告 長谷川 悟幹事

#### 理事会報告(承認事項)

- ・観月会について 10月18日(火) 予定
- ・事務所 OA 機器について
- ・40周年事業記念品について
- ・日高スポーツ少年団 50周年記念誌原稿の件



【誕生日】  
鈴木敏藏さん

【結婚記念日】  
白井 威さん



### 卓話 山口和範様(地区子ども家庭委員会委員長)

#### 『子ども家庭委員会創設の意義』

本日は『子ども家庭委員会』の趣旨についてご説明させていただきます。委員会は奉仕プロジェクト統括委員会に所属しております。当委員会のミッションは、地元の恵まれない子どもに手を差し伸べる（ハートのある奉仕を広げる）ということであり、恵まれない子どもという一昔前ではアフリカの子どもを思い浮かべますが、我が国の子どもは7人に1人が貧困状態にあります。理由としては、全労働者の約4割が非正規雇用者であることと、ひとり親家庭の増加で3組に1組が離婚する時代となっており母子家庭が多くなっていることとあります。子供の貧困率を見ましても、ひとり親世帯の半分が貧困状態となっております。世帯収入と学歴・学力との関係では、世帯年収が多いほどテストの正解率や4年制大学への進学率が高くなっており、世帯収入と低学歴・低学力には強い相関関係があるということです。また、高校の進学率はどの世帯も90%後半で変わりはありませんが、大学進学率は生活保護世帯では35%で全世帯の進学率の半分以下、児童養護施設は27%と更に低い状況にあります。また、生活保護世帯で育った子どもが大人になって再び保護を受ける割合が25%で貧困の連鎖と低学歴には強い相関関係がある結果となりました。司馬遼太郎の『惻隠の情』ではないですが、地元の恵まれない子どもを支援する団体があります。『子ども食堂』（食事をとることのできない子どもたちに対して地域住民のボランティアが無料もしくは少額で食事を提供する場）『フードパントリー・フードバンク・フードドライブ』（生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとれない人々に食品を無料で提供する支援活動）『アスポート』（生活困窮家庭の子への学習支援）であります。これらを活用している子どもはひとり親家庭が多い状況です。ただ世の中には、親が一人もいないとか親に虐待されているという子どもは『児童養護施設』で保護されています。課題としては、情操教育が足りない、行事がマンネリ化、モデル（手本）がないなどありまして、ロータリークラブの介在余地はあるかと思えます。皆様の地元にもこのような恵まれない子どもがいますので、こういった団体を支援して頂ければと思います。広めているところであります。その中で『子ども食堂』は、2016年には319か所でしたが、2020年は4,960か所、2021年には6,014か所に増加しました。メリットは手作りで温かい食事が安価で食べられる、共食できる、しつけの場となるなどあり、デメリットは開催する場所や働くスタッフおよび運営費の確保が課題となっております。『フードパントリー』は、利用者に配布場所へ食品を取りに来てもらうという仕組みですが、子ども食堂が場所等の関係で利用できなかったり、知人と会ったら恥ずかしいという家庭の方が利用しやすいというメリットがあります。『アスポート』は、埼玉県全域で展開しております。NHKや埼玉新聞でも取り上げられ、大野知事が東松山教室へ視察に来られたことがありました。ロータリーの友で、子供の貧困問題に関わる奉仕記事数は、2017-18年度が10件に対し、2020-21年度は23件、今年度は4月号までで20件で、このままいけば前年度を上回るペースで推移しております。SDGsの基本理念でも『貧困をなくそう』や『飢餓をゼロ』になど、5つの項目が該当しています。そして、RIテーマ『奉仕しようみんなの人生を豊かにするために』（21~22年度テーマ）にも沿った取組みにもなっておりますので、社会経験や人生経験が豊富な皆様方には是非積極的に取組んでいただきたいと思います。これは今年度のRIテーマ『イマジン ロータリー』にも通ずる、普遍的なテーマであると思えます。



出席報告	9月6日	会員数	出席数	出席免除	欠席数	出席率	8/23 修正率
	夜間	19	16	2	3	82.35%	56.25%

※出席報告は例会中には致しません

### ニコニコボックス報告

16名 合計金額 24,000円 累計金額 102,000円